



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL <http://www.jcm-hq.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 山崎 統司 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有 (ホームページに掲載)
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,508	△13.3	62	△93.7	△103	—	△290	—
2019年3月期第2四半期	15,585	3.9	996	3.4	1,450	36.3	1,047	130.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △734百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 314百万円 (43.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△9.79	—
2019年3月期第2四半期	35.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	37,932	31,838	83.9	1,073.43
2019年3月期	39,668	32,893	82.9	1,109.70

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 31,838百万円 2019年3月期 32,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.50	—	11.50	20.00
2020年3月期	—	8.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,900	△17.2	△520	—	△690	—	△1,060	—	△35.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8 ページ「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	29,662,851株	2019年3月期	29,662,851株
2020年3月期2Q	2,309株	2019年3月期	21,155株
2020年3月期2Q	29,647,991株	2019年3月期2Q	29,641,800株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境について、ゲーミング市場では、北米地域でのカジノホールの新規開設件数が減少し、また、欧州地域では、ドイツで前期に行われたゲーム機に関する基準改定（仕様変更）に伴う駆け込み需要の反動減の影響が大きく、総じて設備投資は低調に推移いたしました。また、国内外のコマーシャル（金融・流通・交通等）市場では、日本国内は、特に流通・交通の分野において堅調な需要がみられましたが、欧州地域における需要は軟調に推移いたしました。日本国内を対象とする遊技場向機器市場では、遊技人口の減少や業界の規制強化の流れを受けて、パチンコホールの新規出店や店舗改装などの設備投資意欲は減退するなど、厳しい事業環境が続きました。

このような状況において、当社グループでは、ゲーミング市場向けには、主力製品である紙幣識別機ユニット及びプリンターユニットの販売に加え、新たな需要の掘り起こしに向けた新規商材の販売提案活動を推進いたしました。また、コマーシャル市場向けには、日本国内では、東京オリンピック等のイベントを控えて、交通機関などが進める環境整備に伴う入替需要に対応するため積極的な販売活動に取り組みとともに、東南アジアを中心とする新規市場では、顧客のニーズを充足する高付加価値製品の販売拡大に注力いたしました。遊技場向機器市場向けについては、新製品の玉貸機・メダル貸機及びメダル自動補給システムを中心に、市場シェアの維持・確保に努めてまいりました。

しかしながら、前述のドイツゲーミング市場における規制強化前の駆け込み需要の反動により、特にドイツの大手顧客への販売が大きく減少したことにより、当第2四半期連結累計期間における売上高は、13,508百万円（前年同四半期13.3%減）となりました。利益面については、売上高の減少による影響に加え、新製品開発に向けた研究開発投資の増加により、営業利益は62百万円（前年同四半期比93.7%減）、円高による外貨建資産に係る為替時価換算差損の計上などにより、経常損失は103百万円（前年同四半期は1,450百万円の利益）、投資有価証券の評価損等の特別損失の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は290百万円（前年同四半期は1,047百万円の利益）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドル109.99円（前年同四半期は108.52円）、ユーロは124.11円（前年同四半期は130.70円）で推移いたしました。また、当第2四半期連結会計期間末の時価評価に適用する四半期末日の為替レートは、米ドル107.96円（前連結会計年度末は111.01円）でありました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

北米地域でのカジノ向けプリンターユニットの販売の減少に加え、欧州地域でのドイツにおける需要停滞の影響から紙幣還流ユニットの販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は7,694百万円（前年同四半期比14.1%減）、セグメント利益は1,138百万円（前年同四半期比46.1%減）となりました。

②海外コマーシャル

アジア地域では新製品の紙幣還流ユニット等の販売が堅調に増加いたしました。また、欧州地域での主力製品の販売減少や、為替が円高基調で推移したことなどにより、当セグメントの売上高は1,417百万円（前年同四半期比27.1%減）、セグメント損失は405百万円（前年同四半期比は64百万円の利益）となりました。

③国内コマーシャル

ICカードチャージ機、バス運賃箱向けの紙幣識別機ユニット及びホテル精算機向けの貨幣処理機器ユニット等の販売が堅調であったことなどにより、当セグメントの売上高は1,373百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益は249百万円（前年同四半期比101.1%増）となりました。

④遊技場向機器

新製品の玉貸機・メダル貸機の販売は増加いたしました。また、主力製品のメダル自動補給システムの販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は3,021百万円（前年同四半期比9.7%減）、セグメント損失は56百万円（前年同四半期は412百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,736百万円減少し、37,932百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,444百万円減少し、26,247百万円となりました。「受取手形及び売掛金」が1,286百万円減少いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて292百万円減少し、11,684百万円となりました。「のれん」等の無形固定資産の償却が進んだことにより、無形固定資産が162百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ681百万円減少し、6,093百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が230百万円、「未払法人税等」が146百万円それぞれ減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,054百万円減少し、31,838百万円となりました。在外子会社の時価評価による「為替換算調整勘定」が369百万円減少し、配当金の支払等により「利益剰余金」が631百万円減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ579百万円減少し、10,768百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、283百万円の資金の増加となりました。売上債権の減少額1,166百万円の資金の増加を計上する一方で、税金等調整前四半期純損失133百万円、棚卸資産の増加616百万円などの資金の減少を計上いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、281百万円の資金の減少となりました。有形固定資産の取得による支出266百万円などの資金の減少を計上いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、350百万円の資金の減少となりました。配当金の支払額340百万円などの資金の減少を計上いたしました。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額230百万円の資金の減少がありました。

(3) 今後の見通し

2019年9月19日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は本日別途開示しております「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、今後の需要動向による業績への影響などを確認の上、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,368,448	10,788,958
受取手形及び売掛金	5,671,424	4,384,575
有価証券	89,989	87,675
商品及び製品	6,871,725	6,419,487
仕掛品	530,480	689,339
原材料及び貯蔵品	2,676,525	3,366,897
その他	647,191	666,483
貸倒引当金	△164,292	△156,078
流動資産合計	27,691,493	26,247,338
固定資産		
有形固定資産	5,009,214	5,049,226
無形固定資産		
のれん	1,811,880	1,667,081
技術資産	212,754	167,104
顧客関連資産	2,666,016	2,453,673
その他	87,203	327,913
無形固定資産合計	4,777,854	4,615,773
投資その他の資産		
その他	2,247,739	2,078,605
貸倒引当金	△57,961	△58,879
投資その他の資産合計	2,189,778	2,019,725
固定資産合計	11,976,847	11,684,725
資産合計	39,668,340	37,932,064
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,985,684	2,755,646
未払法人税等	658,329	512,190
賞与引当金	402,966	363,934
役員賞与引当金	18,000	—
その他	2,191,000	1,800,422
流動負債合計	6,255,980	5,432,193
固定負債		
その他	518,990	661,221
固定負債合計	518,990	661,221
負債合計	6,774,971	6,093,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,759,065	2,762,525
利益剰余金	28,300,111	27,668,954
自己株式	△19,143	△2,097
株主資本合計	33,256,978	32,646,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263,162	188,925
為替換算調整勘定	△626,771	△996,603
その他の包括利益累計額合計	△363,609	△807,678
純資産合計	32,893,369	31,838,649
負債純資産合計	39,668,340	37,932,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	15,585,959	13,508,007
売上原価	9,718,749	8,233,332
売上総利益	5,867,210	5,274,675
割賦販売未実現利益戻入額	30,212	13,787
割賦販売未実現利益繰入額	8,308	—
差引売上総利益	5,889,114	5,288,462
販売費及び一般管理費	4,892,742	5,226,119
営業利益	996,371	62,343
営業外収益		
受取利息	4,285	3,859
受取配当金	17,402	19,853
為替差益	386,418	—
その他	48,803	21,617
営業外収益合計	456,909	45,330
営業外費用		
支払利息	429	1,483
為替差損	—	197,642
その他	2,178	12,085
営業外費用合計	2,607	211,210
経常利益又は経常損失(△)	1,450,674	△103,536
特別利益		
固定資産売却益	996	—
新株予約権戻入益	13,984	—
特別利益合計	14,980	—
特別損失		
固定資産除却損	1,034	6,155
投資有価証券評価損	—	23,458
特別損失合計	1,034	29,613
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	1,464,620	△133,150
法人税、住民税及び事業税	444,051	164,724
法人税等調整額	△26,535	△7,597
法人税等合計	417,516	157,127
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,047,103	△290,277
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	1,047,103	△290,277

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,047,103	△290,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,111	△74,236
為替換算調整勘定	△663,898	△369,832
その他の包括利益合計	△733,010	△444,069
四半期包括利益	314,093	△734,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,093	△734,346
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,464,620	△133,150
減価償却費	447,987	502,924
のれん償却額	92,467	93,161
引当金の増減額(△は減少)	△201,548	△65,261
受取利息及び受取配当金	△21,687	△23,712
支払利息	429	1,483
為替差損益(△は益)	△324,959	225,783
有形固定資産除売却損益(△は益)	37	6,155
投資有価証券評価損益(△は益)	—	23,458
新株予約権戻入益	△13,984	—
売上債権の増減額(△は増加)	327,575	1,166,039
たな卸資産の増減額(△は増加)	781,642	△616,481
仕入債務の増減額(△は減少)	△408,140	△112,634
未収消費税等の増減額(△は増加)	147,030	△129,893
その他	53,850	△519,197
小計	2,345,320	418,674
利息及び配当金の受取額	21,342	23,386
利息の支払額	△429	△1,483
法人税等の支払額	△610,350	△157,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,755,883	283,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△111,060	—
有価証券の純増減額(△は増加)	27	△294
有形固定資産の取得による支出	△253,758	△266,407
有形固定資産の売却による収入	1,563	—
無形固定資産の取得による支出	△15,835	△13,920
投資有価証券の取得による支出	△1,347	△1,273
その他	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△380,410	△281,905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△251,202	△340,116
リース債務の返済による支出	△26,660	△30,453
自己株式の取得による支出	△113	△255
自己株式の売却による収入	76	20,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277,900	△350,063
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,560	△230,973
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,125,133	△579,490
現金及び現金同等物の期首残高	8,888,786	11,348,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,013,919	10,768,958

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月23日開催の取締役会において、当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことを決議し、19,100株を処分いたしました。その結果、資本剰余金が3,460千円増加し、自己株式が17,301千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,762,525千円、自己株式が2,097千円となっております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社についてIFRS第16号(リース)を適用しています。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表は無形固定資産のその他244,697千円、流動負債のその他51,212千円及び固定負債のその他194,206千円が増加しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,953,376	1,943,280	1,341,058	3,348,245	15,585,959	—	15,585,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,953,376	1,943,280	1,341,058	3,348,245	15,585,959	—	15,585,959
セグメント利益又は 損失(△)	2,114,804	64,949	124,074	△412,160	1,891,668	△895,296	996,371

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,694,470	1,417,569	1,373,995	3,021,971	13,508,007	—	13,508,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,694,470	1,417,569	1,373,995	3,021,971	13,508,007	—	13,508,007
セグメント利益又は 損失(△)	1,138,859	△405,733	249,473	△56,917	925,682	△863,338	62,343

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。